

大寒の候 12月定例会

もくじ

- 定例会の審議概要 2～3 ページ
- 一般質問等 4～7 ページ
- 採決結果一覧、
11月臨時会の概要等 8 ページ

12月定例会について

12月8日から22日までの15日間の会期で開催しました。
この定例会では、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行い、また、人事案件1件、「守口市大枝公園外3公園の指定管理者の指定について」などの議案8件、決議案1件、決算6件をそれぞれ審議しました。
また、府内における新型コロナウイルス感染症状況などを踏まえ、今定例会に限り、一般質問を7人の議員が文書にて行いました。

指定管理

大枝公園外3公園の指定管理者の指定

〈議案内容〉

大枝公園の指定管理者の指定期間が令和3年3月末をもって満了することから、大枝公園に加え、土居公園、下島公園、大宮中央公園を管理する指定管理者について、公募、選定を行った結果、一般財団法人大阪スポーツみどり財団を指定するものです。（指定管理料5カ年合計額…2億9千990万円）

〈審議経過〉

大枝公園については、指定管理者がこれまで培ったノウハウの十二分な活用はもとより、多様なイベントなどの開催や、利用者のさまざまなニーズをくみ取るなど、これまで以上に快適に利用できる公園づくりに取り組むこと。



また、他の3公園については、市民が安心・安全に利用できる効果的な管理運営に努めつつ、これまで地域の主体的な清掃活動などにより、良好な環境が維持されてきた公園もあることから、今後指定管理者と地域の連携が図れるよう市として取り組むことなどの意見がありました。

〈結果〉
満場一致で可決しました。

施設名	指定管理者	指定期間
大枝公園外3公園	一般財団法人 大阪スポーツみどり財団	令和3年4月から 5年間

市営住宅の指定管理者の指定について

〈議案内容〉

市営住宅を管理する指定管理者について、公募、選定を行った結果、日本管財株式会社を指定するものです。（指定管理料5カ年合計額2億8千960万8千円）



施設名	指定管理者	指定期間
市営住宅	日本管財株式会社	令和3年4月から 5年間

〈審議経過〉

今回の選定団体は、近隣市における公営住宅の実績を多数有していることから、そのノウハウを最大限発揮するとともに、漏水などの修繕は、夜間や土日を含め、迅速かつ丁寧な対応を心がけ、入居者が安心して過ごせるように適切な管理運営に努めること。

また、有事の際は、指定管理者との連携の下、情報共有を行い、危機管理体制についても配慮することなどの意見がありました。

〈結果〉

満場一致で可決しました。

予算

一般会計補正予算(第6号)

〈議案内容〉

歳入歳出にそれぞれ19億2千75万4千円を追加し、総額を848億3千568万1千円とするものです。市内介護施設等新規入所者(65歳以上)に対するクラスター防止PCR検査事業、キャッシュレス決済普及促進ポイント還元事業の他、主な審議経過は次のとおりです。

〈審議経過〉

①オリンピック聖火の展示にあたっては、警備受託業者と十分協議の上、来場者の感染症対策や安全面など万全を期すことはもちろんのこと、より幅広く周知を図り、同時開催イベントなど他市の事例も参考にしつつ、街のにぎわい創出の一助となるように取り組むこと。

②小・中学生への図書カードの配布については、迅速かつ遺漏のないように努めつつ、事前に事業趣旨を十分に説明するなど、子ども達の学力向上や読書活動の推進に取り組むこと。



令和元年度各会計決算の認定

③GIGAスクールサポーターの配置については、端末導入初期におけるICT環境整備の設計や端末などのマニュアル作成はもちろんのこと、教員に対する研修の強化など、今後とも効果的な活用に向けた、きめ細やかな支援体制の構築に向け努めること。

9月定例会において決算特別委員会を設置し、継続審査として決算6件を10月12日から29日までの間で、計6日間にわたり審議を行いました。

＜主な審議経過＞

①路上喫煙については、いまだ禁止区域での喫煙が見受けられることから、例えば、禁止区域に視覚的により分かりやすく工夫を凝らすなど、より一層の周知に努め、市民などの身体および財産への被害並びに煙による迷惑の防止に取り組むこと。

④市有地売却収入の基金への積立については、その原資は市民の貴重な財産であることを十分に認識し、これまでの活用経過はもちろんのこと、今後の市民サービスの維持向上と安定した財政運営を図る観点から、慎重に検討・決定することなどの意見がありました。

＜議案内容＞

ひとり親世帯臨時特別給付金（1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円）の再支給分として、歳入歳出にそれぞれ1億743万円を追加し、総額を849億4千311万1千円とするものです。

＜結果＞

満場一致で可決しました。

②児童虐待については、これまで児童相談や各種訪問事業などを通して、子育ての負担感、孤立感の解消などに取組んでいるところであるが、いまだ増加傾向にあることから、さらなる実情把握を行うつつ、適切な助言などに努めるとともに、特に課題を有する家庭に対しては、関係機関と緊密に連携し、迅速かつ的確な支援に努めること。



選挙

選挙管理委員会委員及び

同補充員(任期4年)

(令和2年12月18日～令和6年12月17日)

【委員】

川西 一雄 氏 仲 清次郎 氏
岩崎 博 氏 杉本 清 氏

【補充員】

信原 君男 氏 高木 満喜 氏
谷本 光義 氏 小谷 弘次 氏

決議



賀詞決議案

＜提出者＞

坂元正幸 高島 賢 竹嶋修一郎
松本満義 小鍛冶宗親 水原慶明
福西寿光

＜結果＞

満場一致で可決し、宮内庁長官へ送付しました。

人事

人権擁護委員(任期3年)

(令和3年7月1日～令和6年6月30日)

讚岐 信子 氏 中道 久美子 氏

※詳細は、市議会ホームページ「令和2年12月定例会議案・議決結果一覧【審議経過】」に掲載しています。

① 杉本 悦子 (会派に属さない議員)

学校でのコロナウイルス対策の
拡充について

① コロナ対策を絶対の機会ととらえ、
少人数学級の実現を

問 来年度小中学校の全学年で30人、35人学級とした場合、特別支援学級とのダブルカウントで40人以上のクラスを解消する場合、それぞれ何クラス増えるのか。また、来年度にできることはないか。

答 少人数学級に向けた学級数は、国の正式な考え方が示されていないため算出していない。来年度についても、国が教職員定数の配置基準とその財政負担を法律に基づいて行うものであるため、小学校における35人学級に向けた国の検討状況を含めた動向に注視していく。

② 休校期間の授業の補充と、行事の
中止などの影響や心のケアについて

問 休校期間中の授業日数不足解消のため、中止となった行事予定日に授業を充てると聞いているが、学校生活で蓄積される体験ができなくなっている子どもたちへの心のケアについてはどうか。

答 学校行事は、集団への帰属感や連帯感を深め、公共の精神を養うことができる重要な教育活動である。やむなく中止

とした行事の目的を明確にした上で、可能な限りその達成ができるよう、各学校の実情に応じた教育活動の工夫に努めることが重要であると考えている。



③ 子どもに寄り添った授業に教師が
専念できる体制づくりについて

問 教員が行っている消毒作業などを補助する人員を補充して、子どもに寄り添った授業に専念できる体制づくりをすべきと考えるがどうか。

答 学校施設などの委託事業者に消毒作業も行うよう協力を要請しているほか、通常の清掃活動の中に家庭用洗剤など消毒の効果を取り入れ、ポイントを絞って実施するなど負担軽減に努めている。

② 服部 浩之 (改革クラブ)

新型コロナウイルスの影響による病床
のひっ迫の可能性など、地域の医療体制
の情報と、一般市の権限について

問 本市は、自ら保健所を設置する中核市と異なり、入手できる地域の医療体制の情報に制約がある。コロナ禍で危機的状況が起こった際、行政が地域の医療体制の詳細を把握できず、正確な情報に基づいた的確な行動ができれば問題である。情報共有の深化など、どのように取り組むのか。

答 医療提供体制の確保、調整は大府の権限と責任で実施されている。市では、保健所管内の医師会などで構成している関係機関会議などを通じ、必要な情報・認識共有に努める。市民の安全安心の確保に向け、最大限迅速かつ的確に取り組んでいく。

ごみの不法投棄対策と美観を
損ねない配慮について

問 不法投棄の頻発箇所に不法投棄禁止看板を設置しているが、景観を損ねてしまうリスクもある。防犯カメラとの連携や重点警戒箇所にセンサーライトの設置、看板のデザイン向上などを心がけてはどうか。

答 警察と連携し、市内パトロールに取り組んでいる。今後は防犯カメラのさらなる活用を行い、市民や事業者などへの啓発に努めていく。また従来のデザインに加え、街の美観や市民の目につきやすいよう「もり吉」を描いた新たな看板を製作していく。

受験シーズンを控えた大切な時期の
学校でのコロナ対策の充実について

問 受験シーズンにむけ、各校への支援・通知・連携や各校で実施している感染症対策の把握を的確に行うべきと考えるがどうか。

答 非接触型体温計の配付などを行うい、校長会と緊密な連携・調整、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る留意点」の更新・通知など、各校の取り組み状況を把握しながら指導・支援してきた。新型コロナウイルスに係る配慮事項が示され次第、速やかに学校に周知徹底していく。



③ 水原 慶明 (自由民主党守口市議会議員団)

さくら小学校移転に伴う

新通学路について

問 保護者や警察などとの連携、危険個所の調査・把握、児童・生徒への交通安全対策の計画的指導など、安全対策へ向けた取り組みが必要と考えるがどうか。

答 子どもを守る防犯声かけパトロールなど交通安全施設の整備に努めているほか、毎年交通安全教室を小中学校および義務教育学校で実施している。現在、放課後下校時における警備配置や整備箇所などの調整中であり、さらなる安全確保に努めていく。



問 子どもの感染拡大が危惧されている大阪市に現状と対策を確認し、本市の取り組みに活かしてはどうか。

答 子どもの感染拡大が危惧されている大阪市に現状と対策を確認し、本市の取り組みに活かしてはどうか。

か。また、市内の子ども関連施設で適切な感染症対策・対応ができるよう図るとともに、保護者へ感染症対策などを周知すべきと考えるがどうか。

答 新型コロナウイルスの状況は日々変化しているため、近隣市との情報共有に努めていく。陽性判明時のノウハウなどについての情報共有は、早期に感染拡大防止をする上で重要であるため、連携を強化していく。保護者にも感染症対策の周知に努めていく。

美化清掃活動団体への支援について

問 美化清掃活動団体は平成27年度から令和元年度にかけて約3分の2に減少しているが、その要因は何か。また、支援内容を追加し、未登録の町会・老人会などにも登録を促し、報奨金を出すなどしてはどうか。

答 高齢化や新規参加者の不足などとなって町の美化に取り組むことは重要と考えているが、原則地域の自主的活動であるため、報奨金は考えていない。今後も意見交換を行い、活動に必要な支援の実施、新たな団体の結成促進に向け啓発に努めていく。

④ 福西 寿光 (守口未来会議)

売却予定市有地の地域での活用(おおくぼ幼稚園跡地の活用)について

問 売却予定市有地は、機械的に売り払わず、地域の声に耳を傾けるべきである。まず、おおくぼ幼稚園跡地の活用を提言する。地域では、長年気軽に交流できる会館の建設を切望してきた。跡地の地域での活用を前向きに検討してはどうか。

答 旧おおくぼ幼稚園跡地については売却する方針である。地域住民が気軽に交流できる集会所設備整理については、他地域との公平性や、地域の負担と管理運営体制の確保を前提に、地域コミュニティ活動の活性化に資する方向での利用について、早期に地域住民と協議して進めていく。

新型コロナウイルスに感染した児童・生徒のプライバシー情報の厳格な管理について

問 ある学校で児童の感染が判明し、関係児童にPCR検査を受けるよう連絡があった。病院には同時に間帯に児童が集まり、感染者の見当がついたと聞いた。時間設定の配慮が必要である。また、感染者に対するいじめなどがおこらないよう、教育的指導に取り組むべきと考えるがどうか。

答 プライバシー保護について、今後も保健所と連携を密にする。感染者に対する差別や中傷などが生じないよう、今後も児童生徒が感染症について正しく理解するための取り組みを推進する。

子ども医療助成制度の対象者を18歳まで拡充することについて

問 対象者を18歳まで拡充すること、は、コロナ禍において、子育て世代に一条の光明をもたらさし、ひいては若い世代の定住促進につながり、本市の発展に寄与する。早急に拡充すべきと考えるがどうか。

答 対象者を18歳まで拡充すること、は、子育て世帯の定住にも大きくつながることから、コロナ禍での子育て世帯の生活支援の観点も含めて財源確保の見直しをつけた上で令和3年度中の実現に向けて精力的に取り組む。



⑤ 土江 俊幸 (大阪維新の会守口市議会議員団)

コロナ第三波における市の支援策、
活性化策について

問 経費がかからず、すぐに実施でき、市民が平等に恩恵を受けることができる本市独自の支援策、活性化策も必要と考えるがどうか。

答 新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金の追加分などを有効に活用し、市民生活を幅広く視野に入れ、市民の声にも耳を傾けつつ、必要性が高く、より効果的な事業を速やかに実施していく。

コロナ対策予算の合計額

問 各次臨時補正予算で降りてきた金額の合計は国、大阪府それぞれでいくらか。本市独自で行われた施策の予算総額はいくらか。今後、市独自の新型コロナウイルス感染拡大防止策や各種の補助金、助成金で何に予算を充てようと考えているのか。

答 本市の地方創生臨時交付金は、総額約15億6千万円、定額給付金支給財源などとして、国庫支出金約152億円、府支出金約1億円を予算措置している。市単独事業として、総額約22億3千万円を予算措置した。今後の

新型コロナウイルス感染症対策は、地方創生臨時交付金の追加分などを活用し、時機を逸することなく臨機に対応し、コロナ禍の市民の安全・安心の確保に全力を挙げていく。

GIGAスクールについて

問 保護者へどのような説明をしているか。教員の独創的な授業などネットでの共有を考えてはどうか。今後GIGAスクール以外に市独自で学力向上に何が必要と考えているか。

答 チラシ配付などで周知しているが、引き続き保護者にわかりやすい周知に努め、マニュアルなどの配付などを通じ、各校の活用状況の発信も行っていく。

また、オンライン配信などによる研修会の実施に加え、教員の専門性が活かされた効果的な授業実践などを全校で共有していく。児童生徒の確かな学力の向上に向け、市独自の学力向上プランに基ついた具体的な取り組みをより一層推進していく。



⑥ 松本 満義 (守口市議会公明党)

市ホームページの改善について

問 さらに見やすく検索しやすい仕様への改善と、コロナ情報をトップページの上段に大きく分かりやすくリンク画面を貼り出し、内容検索もしやすくとめていただきたいと要望するがどうか。



答 ホームページを利用される方が、多くの情報の中から必要な情報を円滑に入手できるよう、これまでに以上に検索しやすく、使いやすく、親しみやすいホームページとしていくため、デザインやレイアウトの変更に取り組んでいく。

小中学校体育館のエアコンの
設置について

問 「緊急防災・減災事業債」などの動向を見ながら、早急に小中学校のエアコン設置を進める事が重要と思うが、危機管理の観点から、また、教育委員会の観点から考えを聞きたい。

答 今年度中に策定予定の学校施設整備計画を踏まえつつ、学校教

育環境の改善向上に向けて既存校の老朽化対応などの課題との優先順位をしっかりと吟味しながら、児童生徒がより安全・安心な学校生活を送ることができるよう検討を進めていく。

また、体育館への空調設備の設置は、災害時の市民の避難所環境としても意義あることと考えるので、市長部局とも連携し、国庫補助拡充や「緊急防災・減災事業債」の延長なども見据え、本市の将来の財政負担に配慮の上で、計画的な整備の実現に向け検討を急いでいく。

文禄堤の活性化について

問 文禄堤は、重要な歴史的資源であるが、あまり知られていない。「もりぐち歴史館」とも連携した施設を設置することで、本市の歴史的文化的価値を再評価、再発見してもらい、併せてシティブロモーションにもつなげてはと思うがどうか。

答 今後は、ご提案の観光資源の拠点や郷土の歴史教育の活用に対する場の設置を含め、抜本的な活性化に向けて具体的な検討を行っていく。

密集市街地対策について(除却助成制度の対象の拡充、今後の密集市街地対策)

問

本市と同様に密集市街地を抱える隣接自治体では、戸建て住宅を除却助成対象としているところがある。より一層の地域の防災性向上を図るために、本市でも除却助成制度の対象に戸建て住宅などを加えてはどうか。

また、国は密集市街地延焼危険性の評価方法として、これまで広く使われてきた「不燃領域率」に代えて、来年度からはGISを用いた「想定平均焼失率」という新たな評価方法を採用する予定と聞く。

しかし、この評価方法では市内2地区が「危険密集」と判定されず、ここまで進めてきた密集市街地対策を継続することが極めて困難となる。「令和2年度までに危険密集を解消する」としていた国が、来年度以降の密集市街地対策の新たな方向性を打ち出す動きをしているが、本市として今後の密集市街地対策について、どのように取り組んでいくのか見解を聞きたい。

答

密集市街地対策は、本市の重要施策として取り組んできたところであり、その結果、不燃領域率は大日・八雲東町地区で約34%、東部地区で約31%まで向上している。

今年7月、国は「想定平均焼失率」という新たな評価方法を採用する方針を示し、本市の2地区を検証したところ、求められる整備水準を満たすことが判明し、国が定義する「地震時等に著しく危険な密集市街地」の対象から外れる見込みとなった。このことは、市民の安心を確保する上では望ましい評価であると受け止めている。

しかし、評価方法の変更により「著しく危険」な地区ではなくなつたとはいえ、継続して密集市街地対策に取り組む必要があると考えており、提案の助成制度の検討も含め、今後国、大阪府と連携し、課題の解決に努めていく。



4ページから6ページに掲載していない質問項目の一覧

杉本 悦子 (会派に属さない議員)

◎学校でのコロナウイルス対策の拡充について (学校でコロナ症状がみられた場合の対応など)

服部 浩之 (改革クラブ)

◎地域の集会所用のコロナ対策補助金の設立について ◎新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に関連する条例の制定について

水原 慶明 (自由民主党守口市議会議員団)

◎新型コロナウイルス対策と経済活動の両立について (市民の皆さまに向けた分かりやすい支援策の紹介についてなど)

松本 満義 (守口市議会公明党)

◎おくやみハンドブック作成について ◎学校図書館の充実について ◎感染症下の避難所運営モデルについて ◎公園への防犯カメラ・ライトの設置について

市議会情報発信ガイドラインを策定

令和2年12月22日開催の各派代表者会議で、本市議会議員による情報発信(チラシ、ウェブサイト、ブログ、ツイッターなど)が、適切かつ正確なものであるため、市議会情報発信ガイドラインの策定を全会一致で決定しました。

市議会災害対応マニュアルを改正

令和2年12月22日開催の議会運営委員会で、市議会災害対応マニュアルの改正を全会一致で決定しました。主な改正内容は、災害などに感染症を追加し、また、市が災害対策本部などを設置した場合、同時に市議会災害対策会議を設置するものなどです。

令和2年12月定例会 議員別採決結果一覧

【○】は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「※」は議長につき採決に加わらない

事件番号	事 件 名	結果	公明				自民		未来			維新		改革		新政		無						
			西尾博道	松本満義	西田久美	小鍛冶宗親	立住雅彦	福本健一	工藤百合子	水原慶明	池嶋一夫	井内昌幸	阪本長三	江端将哲	福西寿光	梅村正明	坂元正幸	土江俊幸	嶋田英史	服部浩之	高島賢	竹嶋修一郎	甲斐礼子	杉本悦子
議案第61号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なき旨議決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和元年度守口市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	
認定第2号	令和元年度守口市特別会計国民健康保険事業歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
認定第3号	令和元年度守口市特別会計後期高齢者医療事業歳入歳出決算の認定について	満場一致認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第4号	令和元年度守口市特別会計公共用地先行取得事業歳入歳出決算の認定について	賛成多数認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
認定第5号	令和元年度守口市水道事業会計決算の認定について	満場一致認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
認定第6号	令和元年度守口市下水道事業会計決算の認定について	満場一致認定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第54号	守口市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	満場一致可決	欠	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第55号	守口市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	満場一致可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第56号	守口市大枝公園外3公園の指定管理者の指定について	満場一致可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第57号	守口市営住宅の指定管理者の指定について	満場一致可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第58号	令和2年度守口市一般会計補正予算(第6号)	満場一致可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第59号	令和2年度守口市特別会計国民健康保険事業補正予算(第2号)	賛成多数可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
議案第60号	令和2年度守口市特別会計後期高齢者医療事業補正予算(第1号)	満場一致可決	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第62号	令和2年度守口市一般会計補正予算(第7号)	満場一致可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
決議案第4号	賀詞決議案	満場一致可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

公明=守口市議会公明党、自民=自由民主党守口市議会議員団、未来=守口未来会議、維新=大阪維新の会守口市議会議員団、改革=改革クラブ、新政=守口新政会、無=会派に属さない議員

11月臨時会について

令和2年11月27日に人事院勧告を受け、職員の給与に関する条例等の一部を改正するため、臨時会を開催しました。職員、議員及び特別職の期末手当を0.05月分減額する条例案が可決しました。

令和2年11月臨時会 議員別採決結果一覧

【○】は賛成、「欠」は欠席、「※」は議長につき採決に加わらない

事件番号	事 件 名	結果	公明				自民		未来			維新		改革		新政		無					
			西尾博道	松本満義	西田久美	小鍛冶宗親	立住雅彦	福本健一	工藤百合子	水原慶明	池嶋一夫	井内昌幸	阪本長三	江端将哲	福西寿光	梅村正明	坂元正幸	土江俊幸	嶋田英史	服部浩之	高島賢	竹嶋修一郎	甲斐礼子
議案第53号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	満場一致可決	欠	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

公明=守口市議会公明党、自民=自由民主党守口市議会議員団、未来=守口未来会議、維新=大阪維新の会守口市議会議員団、改革=改革クラブ、新政=守口新政会、無=会派に属さない議員

令和3年2月定例会日程案

- 2月10日(水) 午前10時 議会運営委員会
- 17日(水) 午前9時30分 議会運営委員会
- 午前10時 本会議
- 18日(木) 午前10時 本会議
(市政運営方針)
- 3月5日(金) 午前9時30分 議会運営委員会
- 午前10時 本会議(代表質問等)
- 8日(月) 午前10時 本会議(代表質問等)

- 10日(水) 午前10時 福祉教育委員会
- 11日(木) 午前10時 市民環境委員会
- 12日(金) 午前10時 総務建設委員会
- 22日(月) 午前9時30分 議会運営委員会
- 午前10時 本会議



※日程などは変更されることがあります。また、新型コロナウイルス感染予防対策として、本会議や委員会の傍聴場所および人数を変更しております。最新情報は、市議会ホームページなどをご覧ください。